

# 国立公園満喫プロジェクト等推進事業

環境省

【平成30年度予算概算要求：14,970百万円の内数（10,019百万円の内数）】

## 国立公園満喫プロジェクト：世界水準の「ナショナルパーク」を実現するために

「最大の魅力は自然そのもの」「高品質・高付加価値のインバウンド市場の創造」

訪日外国人の国立公園利用者数  
490万人（2015年） 1000万人（2020年）に  
（2016年：546万人）  
H29年度に満足度等の質の指標を開発予定

### ステップアッププログラムの策定

阿寒摩周 十和田八幡平 日光 伊勢志摩  
大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島

平成28年7月：  
世界水準の「ナショナルパーク」の候補として8公園を選定

12月：公園毎に地域協議会により  
ステップアッププログラム策定

8カ所の国立公園における成果を  
全国の国立公園に水平展開  
特に利用者数の多い国立公園（富士箱根  
伊豆/支笏洞爺/中部山岳）に重点

赤字は今年度の進捗

### 世界水準の「ナショナルパーク」に向けたブレークスルー

#### 上質な宿泊施設の誘致

日光ではラグジュアリーホテル進出に併せて幅広い層の受入環境を整備  
民間と連携し、外国人旅行者のニーズにあったキャンプ場にリニューアル



#### ビジターセンター等公共施設の民間開放

伊勢志摩の英虞湾を望む直轄展望台を民間カフェ導入に向け整備  
（H29年9月に工事着工）  
日光のビジターセンターのテラスをH29.5月より飲食スペースとして開放。  
H29年6月より地元カフェ等による試験出店



#### 自然の質を向上させるための新たな仕組みの導入

慶良間諸島で入島時の環境協力税を徴収し、国立公園の環境保全に活用  
阿蘇くじゅうにて利用者負担による草原再生検討について地元合意



#### 景観の磨き上げと快適な利用環境の整備

大山隠岐にて廃屋を撤去しつつ（内閣府交付金：H29年5月着手）カフェや物販機能を有する  
施設を整備  
日光にて景観改善のため無電柱化を実施  
各国立公園において、ユニバーサルデザインによる利用施設の整備の加速化



#### 体験プログラムの充実と受入体制の強化

8公園において、自治体やツアー事業者等と、受入体制や各種コンテンツの充実を目指し検討・実施  
体制づくりを本格化  
海外に強いエージェントやメディア等を招致し、キラーコンテンツ発掘やブラッシュアップを行うファムトリップ  
を順次実施（1.0月日光・大山隠岐、1.1月伊勢志摩等）

### 国内外への強力な情報発信

#### 民間の知見の活用と連携

国立公園オフィシャルパートナー（ANA、JAL、JTB、KTC  
ホールディングス、サントリー等31社）との連携協力により、  
空港や航空機、列車内等での国立公園の魅力発信  
阿寒観光協会や東北観光推進機構、山陰インバウンド機  
構、九州観光推進機構などとの連携による効果的な情報  
発信強化  
民間企業経験者等の採用により民間連携を加速化



#### 公式SNSの開設

インスタグラム及びフェイスブック公式アカウントにおいて、現  
地レンジャーから、公園の感動を発信中



#### 旅行博参加、セミナー開催

9月22～24日に開催されたツーリズムEXPOでは、8公  
園の展示商談会ブースを出展した他、業界関係者セミ  
ナーでも国立公園の魅力発信  
スポーツ庁、文化庁、観光庁、日本観光振興協会、  
JATA、JNTOと連携し、旅行機運の醸成を図るジャパ  
ン・トラベル・マンス（9～11月）を実施